

# 第1章 要請の背景

# 第1章 要請の背景

## 1-1 要請の経緯

ヴェトナム国（以下「ヴィ」国）政府はドイモイ（刷新）政策の下、継続的な経済成長を目標としており、この目標達成のためにインフラ整備を重要な課題としている。特に運輸交通分野、中でも道路インフラについては交通機関別輸送量の貨物シェアで約65%、人員輸送シェアで約80%と依存度が非常に高く、その整備が急務となっている。また、同国の道路延長約10万kmのうち舗装道路は現在1割程度であるが、第6次国家5ヵ年計画（1996年～2000年）における公共事業投資の内、運輸セクターへの配分は37.9%と第一位となっている。なかでも道路整備には、運輸セクターにおける公共事業の83.1%が投入される計画であることから、道路建設・改修の需要は今後増大するものと予想される。このような道路建設・改修の需要増に対応し、効率的に道路インフラの整備を推進するためには当該分野の技術者の養成が不可欠である。しかしながら、「ヴィ」国最大の訓練機関である第1交通技術訓練校（以下 TTPS-1）は、技術面での立ち後れ、施設、機材の不足・老朽化のため、必ずしも現場のニーズに合った人材を養成することができない状況にあり、緊急にその近代化を図ることが急務となっている。

このような背景から、「ヴィ」国政府は、1994年に日本政府に対し、現場のニーズに合った当該分野の技術者を養成することを目的として、TTPS-1を対象として、「道路建設における機械操作・保守訓練の拠点となる」ためのプロジェクト方式技術協力（以下プロ技協）とこれに伴う施設・機材の整備のための無償資金協力を要請した。